

市史編さんだより

2009. 9. 1

〒229-0021

相模原市高根 3-1-19

電話 042-750-8025

FAX 042-750-8039

発行 相模原市総務局総務課市史編さん室

ホームページ: <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

E-MAIL: shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

着々と 「民俗編」

平成 22 年 3 月刊行予定

現在、編集が進められている相模原市史「民俗編」は旧相模原市域の伝統的な年中行事や暮らし、生業、信仰、芸能、祭り、地域に伝わる伝承等をテーマに 10 章構成となっています。

平成 15 年から開始した聞き取り調査や過去に調査した内容を集約し、また、聞き取り調査に伺ったお宅のアルバムに眠っていた古い写真なども含め写真を多く活用し、生活の一幕を身近に感じ取ることができる「民俗編」をめざしています。どうぞご期待下さい。



上溝の夏祭り（昭和 30 年 市立博物館蔵
故 今井清氏寄贈写真）

〰〰〰〰〰 「自然編」「現代資料編」「現代図録編」等 販売書店 〰〰〰〰〰

紀伊国屋書店相模原店（相模大野） ブックスアミ南口店（相模大野） 柴胡書房（文京） 相模書房本店（相模台）
渡辺書店（相模台） 相模書房女子美術大学店（麻溝台） 久保田書店（千代田） 中村書店淵野辺本町店（淵野辺本町）
中村書店ダイエー店（上溝） 中村書店本店（横山） 三基書房（田名） 中村書店田名店（田名） 中村書店橋本店（西
橋本） 有隣堂ミウイ橋本店（橋本） カクダイ書店（二本松） 山本書店（津久井町中野） 敏正堂（相模湖町与瀬）

市史編さん審議会委員を委嘱

市史編さん審議会委員の任期満了に伴い、平成 21 年 7 月 31 日付けで、各分野の学識経験者・公募委員の 8 名の方々を新たに委嘱しました。

氏名	所属・役職等
岩橋清美	東京都公文書館
金子信男	市民公募委員
高橋順一	桜美林大学教授
中村洋子	大野南公民館長
樋口雄一	元神奈川県立公文書館
藤川まなみ	桜美林大学准教授
保屋野洪子	市民公募委員
山下義幸	元明治大学教授

(五十音順・敬称略)



委嘱式は 8 月 25 日に開催され、宮崎副市長から各委員に委嘱状が手渡されました。

委嘱式に引き続き、第 1 回の審議会が開催され、会長に山下氏、副会長に高橋氏を選任し、今年度の市史編さん事業や各専門部会の実施状況について検討しました。

第 1 回編集委員会開催 7 月 3 日 (金)

市史編さん事業の実施状況及び今後の予定、平成 21 年度市史編さん事業、「相模原市史民俗編」についてを議題として開催しました。市史に関するテーマで出前講座を行ってはどうか、ポスターやチラシなども歴史的公文書として保存すべきではないか、民俗編の編さん内容はどうか、等々の質疑応答がありました。

最後に、今年度刊行した「自然編」について、自然部会の編集委員から編集作業の感想や今後の編集・刊行に際しての留意点などが述べられ、終了しました。

.....
《近現代部会・7 月 11 日 (土) 開催》 構成案の検討のほか、金原左門部会長により「相模原の現代史をどう叙述したらよいか」について論じられました。

《考古部会・7 月 12 日 (日) 開催》 遺跡の所在地・種類・規模・調査歴などの各解説項目が統一ある文体、紙面構成となるよう検討が行われました。そのほか、記載の仕方や内容、挿図の種類や縮尺率、字体等についてさらに検討することになりました。

《民俗部会・7 月 26 日 (日) 開催》 提出された原稿をもとに、目次、章の扉、参考文献一覧等文字の配列、文字の組み方について検討がなされました。

暑い中 順調に滑り出す

石造物・景観調査

7月25日、市史編さん室会議室で各チームリーダーによる情報交換会が開かれました。調査を進める上で出てきた調査方法や記録の仕方などについて、今年はなるべく早い機会に足並みをそろえようと、お互いの情報を交換しました。各チームの置かれている状況はまちまちですが、それぞれ順調にまた計画的に調査は運んでいるようでした。

◇◇ ◇◇ チーム訪問 ◇◇ ◇◇

心配になるほど暑い中、調査は苦しくも楽しく進められているようです。皆さんの調査の様子を写真でお伝えします。(今後も各チームの様子をお伝えしていきます。)



今日は室内での打合せ（星が丘）



数が多いので大変（新磯）



調査の途中で作戦会議（中央）



調査方法を確認し合いながら（大沢）

編さん室の動き

7月・8月

7/3日 市史編集委員会

26日 民俗部会

8日 社寺事前調査（磯部）

8/4日 中世石造物調査打合せ

11日 近現代部会

5日 社寺事前調査（矢部・東淵野辺）

12日 考古部会

8日 民俗調査（田名）

22日 社寺事前調査（並木・新戸）

12日 相模補給廠内神社写真撮影

23日 県立公文書館調査

19日 中村家調査（勝坂）

25日 石造物・景観調査チームリーダー
打合せ会

20日 神史協研究会

25日 審議会委嘱式・第1回審議会

..... 市史講演会

「化石から読み解く

—約250万年前の相模原の自然」.....

日時：平成21年9月19日(土)

午後2時から4時

(開場は午後1時30分)

講師：松島 義章さん

(放送大学客員教授)

会場：相模原市立博物館大会議室
(高根3-1-15/横浜線淵野辺駅下車
徒歩20分・路線バスもあります)

定員：200名(当日先着順)

受講料：無料

対象：どなたでも



サメの歯の化石(大島・神沢)

内容：相模川の沿岸の崖から、サルやゾウ、貝やサメなどの化石が発見されていることを知っていますか？同じ地層から、陸や海の生き物の化石が見つかることは大変珍しいそうです。

化石となったこれらの生き物たちが、元気に生きていた約250万年前の相模原の自然の姿を紹介します。

国登録有形文化財 中村家住宅調査報告



中村家住宅母屋の外観

5月・8月に、市内磯部にある中村家の調査を行いました。

中村家住宅主屋は幕末期に作られた建物が国登録有形文化財(建造物)に指定されています。主屋は建築当初は三階建てで、関東大震災後三階部分を取り壊し、以後は二階建ての建物として使われてきました。今でも、なまこかべ海鼠壁やかとうがた花頭形の窓、青色の壁等、随所にある当時の建築のこだわりを見ることができます。

今回の調査は、建物を含めた敷地全体の現状を把握するために行われ、中村さんに敷地のなかを隅々まで案内していただきました。主屋には、数年前まで実際に治療が行われていた診療室(写真右)がそのまま残されていて、座敷からは古文書、昔の雑誌等多くの資料も確認されました。

